

令和 6 年度 津島福居自主防災会事業報告

1 全般

津島福居自主防災会（以下「防災会」という。）は、現在会長以下 34 名の委員で組織されている。令和 6 年度は、「災害に強い町」「自らのいのちは自らで守る町」を目指して、① 防災意識の向上・情報提供活動の強化（「防災会だより」の発行）、② 災害時活動要領（地震災害編）の策定、③ 「第 16 回福居ふれあい防災まつり」の実施、を重点目標に掲げ、活動を推進した。

2 事業計画に基づく成果

（1）第 16 回ふれあい防災まつりの開催

令和 6 年 10 月 12 日（土 10:00 – 12:30）に開催した。当日は、岡山市（非常食 200 食提供）、岡山市西消防署（防災用具の貸し出し、起震車及び 7 名の署員の派遣）の協力を得て、10 のプログラムを企画して実施した。プログラムの参加人数は、延べ 501 人に上った。

（2）大雨災害を想定した情報伝達訓練の実施

令和 6 年 6 月 15 日（土）10 時より、避難情報レベル 3 の高齢者等避難の発令を想定し、要支援者への情報伝達及び安否確認訓練を実施した。今回も、情報伝達の手段として、電話、メール及び LINE アプリを活用した。訓練には、36 人の要支援者が参加した。

（3）「防災会だより 創刊号」の発刊

重点目標の一つに掲げられていた「防災会だより」について、令和 6 年 9 月 10 日付で創刊号を発行した。「防災会だより」は、「災害対策の基本は住民の皆さんの一人ひとりの日頃からの備えであるとの考えから、関連する防災情報を中心に掲載」することにしており、年 1 回程度の発行を予定している。

また、情報提供活動強化の一環として、防災会の公式 LINE の試行を開始した。

（4）タイムラインを想定した災害時活動要領（地震災害編）の策定

昨年度から検討を続けてきた防災会の災害時活動要領（地震災害編）の策定が完了した。昨年度策定した大雨・豪雨編と合わせて、防災会の活動要領ができたことになり、今後は、この活動要領に基づいて、具体的な防災会活動を実施していくことになる。

（５）個別避難計画の更新

要支援者の移動等に伴い、個別避難計画の一部更新を行なった。

（６）防災会議の開催

防災会では、令和６年度、以下のとおり計５回（５/１８、７/２０、９/２１、１１/３０、３/１５）の防災会議を開催し、災害時活動要領、情報伝達訓練、ふれあい防災まつり等について検討した。

３ 他組織との連携・協力

（１）「地域との協働型防災訓練（SDGs x 防災）」参加

岡山大学、津島地区連合町内会及び損保ジャパンの協働事業として令和７年２月５日（水）に実施された「『逃げ地図』づくりワークショップ」に防災委員が参加した。

以上